

## 緑の募金にご協力ください

緑や森林は、私たちが生きていくうえで、かけがえのない環境資源です。昭和二十五年から始まったこの運動は、緑化の重要性を普及啓発し、快適で住みよい緑豊かな郷土づくりに役立てるため、(社)埼玉県緑化推進委員会が実施するものです。

**募金期間**：5月1日(火)～31日

(木)

**募金の使途**：募金の一定割合が、緑の募金緑化事業費交付金として市に交付され、市内の緑化に役立てられます



緑化されたクラッセ川越4階の「おくがいはるば」

## 緑の募金で屋上緑化を実施

昨年度は、クラッセ川越の屋上緑化を実施しました。

**問い合わせ**：環境政策課みどりの担当・TEL内線2612

## 生け垣設置に補助金を交付します

緑豊かで災害に強いまちづくりを目的に、住宅地の生け垣設置に対して補助金を交付しています。これから生け垣を設置する方、既存の塀を撤去して生け垣に造り替える方は、この制度をご活用ください。

**対象**：みずから居住する家屋の敷地内に、これから生け垣を設置する方。ただし同一敷地内一回を限度とし、生け垣の造り直しは対象外  
**主な基準**：公道に沿って三メートル以上設置▼道路境界線から三十センチ後退した線の家屋側に沿って設置▼生け垣と道路の間には、工作物を設けない▼樹木は高さ一メートル以上で、生け垣の長さ一メートル当たり三本以上植栽する▼生け垣設置のための盛り土基礎を

設ける場合は、宅地地盤面からの高さが五十センチ以下

**補助金額**：生け垣造成補助Ⅱ

道路に沿う生け垣一メートル当たり最高四千元(限度額八万円)▼生け垣造成のためのブロック塀等撤去補助Ⅱ撤去するブロック塀など(コンクリート塀・石塀・レンガ塀を含み、高さが五十センチ以上の物)一メートル当たり最高四千元(限度額八万円)

**申請方法**：工事に着工する十日以上前に、環境政策課

(本庁舎五階)にある用紙で申請

**問い合わせ**：環境政策課みどりの担当・TEL内線2613

## 住宅用太陽光発電システムに補助金

市では、地球にやさしい自然エネルギーを利用した太陽光による発電システムを普及・促進するため、住宅に太陽光発電システムを設置する方を対象に、補助事業を行います。補助金の交付を希望する方

は、次のとおり申請してください。

**受付期間**：5月7日(月)～来年度1月31日(木)

\*先着順に受け付けます。

**応募資格**：みずから居住する市内の住宅に対象システムを設置する方

**補助金額**：太陽光発電システム一キロワット当たり、四万円(四キロワットを上限)

**申請方法**：環境政策課(本庁舎五階)にある所定の申請用紙を同課に提出

これまで、市内に九百七十件あまりの「ミニ発電所」が誕生しました。

\*市では、太陽光発電設置に関する事前アンケートや勧誘などは一切行っていません。

**問い合わせ**：環境政策課地球温暖化対策担当・TEL内線2615

## 「川越市エコチャレンジイベント」大募集

市ではイベント(催し)が、本来の楽しさを損なうことなく、環境にやさしいものとなること、また、市民の皆さんに環境への関心を促すきつ

けの場となることを期待しています。そのために、環境に配慮しようとチャレンジするイベント(催し)を「川越市エコチャレンジイベント」として認定する事業を行っています。

昨年度は、二十二のイベントを同イベントとして認定しました。今年度も引き続き募集します。

**対象**

①市内で開催される、誰もが参加できるイベント

②千人以上の来場者を予定

③「廃棄物の抑制」「省エネ」「交通負荷」「来場者啓発」など7分野のうち、60パーセント以上(環境配慮率)に取り組む、もしくは25点以上(環境配慮点)であること

認定を受けると、「認定マーク」や「啓発用パネル」を使用し、環境への取り組みをPRできます。また、市ホームページで実施状況を紹介できます。

詳しくはお尋ねください。

**問い合わせ**：環境政策課地球温暖化対策担当・TEL内線2615

615

川越をPRする13人

# 「小江戸川越観光親善大使」 が誕生しました



後列左から井上さん・寺田さん・立原さん・ドウエルさん・瀬戸さん・宗形さん  
前列左から小幡さん・小杉さん・金子さん・舟橋市長・篠さん・菅原さん・和田さん  
(仁村さんは所用のため欠席しました)

「小江戸川越観光親善大使」とは、小江戸川越を全国にPRするため、現在、市のイメージアップにつながる活動をしている民間団体および市民を選出したものです。選出された皆さんにより、広く市の観光をPRできるようになります。

3月23日、「小江戸川越観光親善大使」として13人に委嘱状をお渡ししました。なお、任期は4月1日から平成21年3月31日(火)までです。

## 小江戸川越観光親善大使（50音順）

サツマイモ資料館館長・井上浩さん<sup>いのうえひろし</sup>…川越の「サツマイモ博士」です  
イラストレーター・小幡堅さん<sup>おばけん</sup>…「おばけんねこ」のキャラクターが市内を案内しています  
川越藩行列保存会会長・金子正之さん<sup>かね まさゆき</sup>…武士の衣装でさまざまなイベントに参加しています  
川越の街に着物姿を増やす会会長<sup>こすぎわたる</sup>・小杉亘さん…イベントには着物姿で参加しています  
作家・篠綾子さん<sup>しのあやこ</sup>…河越太郎重頼の娘を題材とした小説「義経と郷姫」の著者です  
水彩画家・菅原正之さん<sup>すがわら まさゆき</sup>…南岳の雅号で市内を描いています  
霞ヶ関カンツリー倶楽部副支配人・瀬戸守さん<sup>せとまもる</sup>…ゴルフを通じて川越を全国に発信しています  
川越市姉妹都市交流委員会代表<sup>たちばらまさお</sup>・立原雅夫さん…海外との交流に豊富な知識と経験があります  
川越藩火縄銃鉄砲隊保存会会長<sup>てらだかつひろ</sup>・寺田勝廣さん…小江戸川越春まつりなどで登場する鉄砲隊です  
元プロ野球選手・仁村薫さん<sup>にむらかおる</sup>…現在もプロ野球チームのトレーニングコーチをしています  
川越いも友の会会長・ベアリ・ドウエルさん…川越いもが大好きな東京国際大学教授です  
写真家・宗形慧さん<sup>むなかたさとし</sup>…川越を中心に全国各地の風土・暮らし・民俗芸能などを取材しています  
元ラオス特命全権大使・和田雅夫さん<sup>わだまさお</sup>…国際問題の専門家です

### \* 「小江戸川越大使」と「小江戸川越観光親善大使」の違い

「小江戸川越大使」とは、各界で活躍している個人に委嘱することで、川越の魅力を国内外に広く紹介し、まちのにぎわいを創出することが目的です。現在、童画家・池原昭治さん<sup>いけはらしょうじ</sup>、登山家・田部井淳子さん<sup>たべいじゅんこ</sup>、ニュースキャスター・露木茂さん<sup>つゆきしげる</sup>、プロゴルファー・樋口久子さん<sup>ひぐちひさこ</sup>の4人をお願いしています。

「小江戸川越観光親善大使」とは、小江戸川越の観光PRを幅広く行う皆さんです。

問い合わせ…小江戸川越観光推進協議会（観光課内）・TEL内線2731